

授業科目	哲学	学年	3
		単位	1
時期	後期	時間	15
科目設定理由	看護の対象は人間であるが、看護の対象として人間が存在するのではなく一人の人間として存在する。そして看護師自身も人間である。そのため人間を深く考えてみなければならない。これまでも人間を身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的側面から学んできた。本科目では最終学年としてあらためて人間とは何かについて考える。学生自身が卒業したのち突き当たるであろう間に哲学的視点から考えることで手がかりをつかむ。		
目的	人間について考え、哲学的視点から問いへの手がかりをつかむ		
目標	1.哲学的考え方を理解する 2.哲学的な思考でそれぞれのテーマを考える 3.人間とは何か自分なりの答えを持つ 4.疑問を持ちその答えを考える姿勢を養う		
評価方法	課題演習に対する評価		
使用テキスト	「プレップ倫理学 増補版」柘植尚則（弘文堂）		
参考図書	講義の中で紹介します。		

	主題・単元	授業のねらい	授業内容	授業方法	備考
1	哲学とは何か	哲学を学ぶ意義を理解する。テキストの内容を確認	哲学を学ぶにあたって、1年間の講義スケジュールと内容を理解する。	講義 パワーポイント	
2	個人と社会	市民社会における生き方を考える。	市民の社会とは何か理解し、平等な社会の実現について考える。	講義	
3	正義、自由、平等	正義、自由、平等のあり方を考える。	正義、自由、平等とは何か考え、共同体における正義のあり方を理解する。	講義	
4	医療	医療における倫理的課題について考える。	倫理的立場から、人間の生と死、先端医療のあり方、医療者と患者、社会と人間の関係を考える。	講義 パワーポイント	
5	環境	環境と倫理の関係を考える。	環境とは何か、動物、自然、未来の世代のあり方を考え、環境と正義、経済と環境の関係を理解する。	講義 パワーポイント	
6	科学技術	科学技術と倫理の関係を考える。	先端科学技術と倫理の関係、科学技術の責任、社会における科学技術のあり方を理解する。	講義 パワーポイント	
7	ビジネス	ビジネスと倫理の関係を考える。	経済倫理について学び、ビジネス、企業と社会、市場のモラルについて考える。	講義 パワーポイント	
8	まとめと評価	哲学的課題とは何か考える。	哲学における課題とは何かということを復習し、今日的な哲学的課題を考察する。	演習と評価	

授業科目	人間関係技法	学年	3
		単位	1
時期	前期～後期	時間	15
科目設定理由	看護において対人関係は基本である。対象が自ら健康を維持回復していくためには、看護師の治療的関りや支援が重要である。また、チーム医療において他者との合意形成は必須である。本科目は、演習を主とし、人間関係論で学んだ知識と自己の傾向をふまえた関係構築のスキルを学ぶ。演習で学んだスキルを実習で実践して強化できるよう3年次の実習前に配置する		
目的	対象や保健医療福祉チームの一員として援助的関係・信頼関係を形成していくための理論を学ぶ。よりよい人間関係を築くための技法を学ぶ		
目標	1.アサーティブなコミュニケーション方法の理解を深める 2.コーチングの方法の理解を深める 3.学んだ技法を積極的に活用する姿勢を養う		
評価方法	レポート		
使用テキスト	<系統看護学講座基礎分野>心理学：医学書院、人間関係論：医学書院		
参考図書			

	主題・単元	授業のねらい	授業内容	授業方法	備考
1	保健医療チームの人間関係	保健医療に置けるチームの特性とチームワークについて学ぶ	チームとは、チーム医療とは、チームワークとエラー、チームにおけるコミュニケーションエラーとその予防	講義	
2	自己分析Ⅰ	自己分析を行い自己理解を深める	自己分析	演習	
3	自己分析Ⅱ	自己分析の結果をふまえ良好な人間関係構築の方法について学ぶ	自己分析の結果をふまえた関係構築の実際	演習	
4	患者を支える人間関係	患者とはどのような存在かを理解し、人はどのようにして支えられているかを考える	患者・医療者関係、相互作用の評価 ソーシャルサポートとは、対人援助とは何か、危機的状況時にどのような対処行動を取っているのか	講義・演習	
5	アサーティブ-コミュニケーションの実際	体験を通じてアサーティブコミュニケーションを身に着ける	アサーティブ-コミュニケーションの実際	演習	
6	コーチングの実際	体験を通じてコーチングの技法を理解する	コーチングの定義、他のアプローチとの違い、コーチングの原理とスキル	演習	
7	対人援助職が陥りやすいストレス	医療者の心理問題について理解する	メンタルヘルス・対人援助職が陥りやすいストレス 自己境界、転移・逆転移、共感疲労、2次ストレス	講義	
8	まとめ				

授業科目	異文化コミュニケーション	学年	3
		単位	1
時期	前期	時間	30
科目設定理由	年々在留外国人が増加しグローバル社会においては異文化への敬意とともに理解は欠かせない。また、在留外国人にとって言語の問題や医療の場での不安は大きい。本科目では、異文化の理解を深め言語的コミュニケーションスキルの一つとして共通語である英会話を学ぶ。		
目的	文化の違いを理解し医療の場で役立つ英会話を学ぶ		
目標	1.他国の文化を理解する 2.英語による言語的コミュニケーションを実施する 3.多様性を理解する姿勢を養う		
評価方法	Oral Examination		
使用テキスト	必要に応じて資料配布		
参考図書	<系統看護学講座基礎分野>文化人類学：医学書院		

	主題・単元	授業のねらい	授業内容	授業方法	備考
1	異文化理解	在留外国人の日本での生活における文化の違いを理解する	在留外国人の母国の文化と日本の生活における戸惑い（英語圏以外の文化）	講義	
2	入院患者への病院の決まりの説明	入院患者の看護ケア場面の英会話を理解する	Explaining hospital rules to a new patient.	講義	
3	バイタルサインの説明	入院患者の看護ケア場面の英会話を理解する	Explaining vital signs.	講義	
4	朝の検温時の会話①	入院患者の看護ケア場面の英会話を理解する	Talking a patient through morning check up.	講義	
5	朝の検温時の会話②	入院患者の看護ケア場面の英会話を理解する	Talking a patient through morning check up.	講義	
6	医学用語	医学用語について理解する	Medical terminology.	講義	
7	医学用語を簡単に説明しよう	医学用語について理解する	Medical terminology (explaining in simple English) .	講義	
8	医療カルテを読む	学習した英単語の知識を使ってカルテなどの文章を読む	Reading a medical chart.	講義	
9	予約をとろう	予約時の英会話を理解する	Arranging an appointment.	講義	
10	症状の観察	症状の観察時の英会話を理解する	Common complaints.	講義	
11	既往歴を聞く①	既往歴を尋ねるための英会話を理解する	Asking about lifestyle and medical history.	講義	
12	既往歴を聞く②	グループで会話場面の発表ができる	Presentation	講義	
13	ナースコールの答え方	ナースコール対応時の英会話を理解する	Responding to nurse call and questions at nurse station.	講義	
14	試験の準備	試験の準備ができる	Prepra for test	講義	
15	Oral Examination	Oral Examination	Oral Examination		